



美しい海に囲まれた ボルネオ島 ～コタキナバル～



コタキナバル日本人学校 荒井かおり

もしかしたら、ここコタキナバル日本人学校に赴任しなければ、人生の中で「コタキナバル」という地名を口にすることすらなかったかも知れません。

コタキナバルは、ボルネオ島の北部に位置するマレーシア・サバ州の州都です。色とりどりの魚やサンゴが近くで見られる素晴らしい海が広がっていること、毎日違った色合いの美しい夕日が見られること、東南アジア最高峰の4095.2mの高さを誇るキナバル山が聳え立つ場所であること。来る前は、地名や場所も知りませんでしたが、今はコタキナバルの魅力が少しずつわかってきたように思います。

そんな素晴らしい自然に囲まれたコタキナバル日本人学校は、1983年に開校し今年で39年になります。学校では、毎日鳥のさえずりが聞こえ、ヤモリやトカゲ、リスやサルなどもよく見かけます。私が赴任した2020年11月頃には、マンゴーやバナナ、ランブータンといった木もありました。さすが、南国の学校だなと感じました。

コロナウィルス感染症の影響で、日本からコタキナバルに帰国することが難しくなったということもあり、現在は全校児童生徒数が5人ととても少ないですが、2023年度からは少しずつ人数が増えていくのではないかと予想されます。

2021年度は、2020年度に引き続き感染症の影響で学校の対面授業を予定通り行うことができませんでした。オンライン授業が、約半年間も続きました。11月22日から、ようやく対面授業が再開し、可能な限り行事も行いました。特に、自然体験活動と宿泊体験学習は、ここコタキナバルだからこそ体験できる活動だと感じました。

本校の自然体験活動は、ジェッセルトンの港から船で10分から15分ほどの所にある島に行き、シュノーケリングなどをして自然を満喫します。今年度は、新しくできたウォーターパークに行き、シーウォークやシュノーケリング、カヤック、パークなどで多くの活動をしてきました。コタキナバルの海では、カクレクマノミはじめ多くの美しい魚やサンゴが見られます。それらを間近で見られるシーウォークは、本当に感動しました。宿泊体験学習では、学校から1時間ほどのキャンプ場に行き、1泊2日の宿泊体験をしました。小学2年生から中学1年生の子ども達は、一緒にラフティングやジップライン、クライミングや野外炊飯などの活動を通して、コタキナバルの自然を存分に味わいながら、仲間と共にとってもいい思い出を作ることができました。

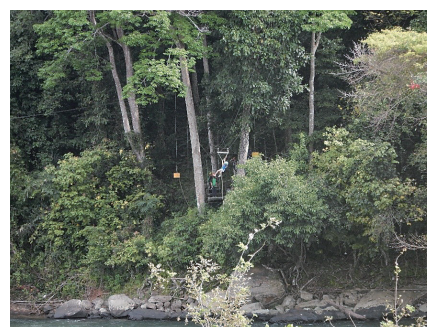
この場所、この学校だからこそできる教育活動は、他にもあると思います。これからもそのような教育活動を通して、子ども達と共にコタキナバルの自然、文化、人々についてより多くのことを知り学んでいきたいと思っています。



ウォーターパーク



ラフティング



ジップライン



水中ウォーク